

表彰

6.2.1 郵政大臣表彰、NASA Group Award と電子通信学会業績賞の受賞

K-3 システムは 1983 年 11 月、初の日米間の VLBI 実験により、十分な互換性を持つことが確認され、その後の 1984 年 1 月と 2 月にも日米間のシステムレベル実験は繰り返され、必要とされる機能・性能も有することが確認されました。鹿島 3 研や周波数標準部の VLBI システム開発グループはこの功績により 1984 年 4 月通信記念日に郵政大臣表彰を受けました。

1984 年 7 月から日・米はもちろん、ヨーロッパの VLBI 局を含む国際

VLBI 実験が開始されました。1984 年 7 月から 1 年間の国際実験により、1985 年 11 月太



3.10-1 図 K-3 システム開発で開発グループが郵政大臣の表彰を受ける。



3.10-2 図 NASA Group Achievement Awards が日米 VLBI 実験関係者に送られる。



3.10-3 図 電子通信学会業績賞 佐分利、川尻、河野氏に贈られる。

平洋プレートが現在も移動していることが明らかにされ、プレート理論が実証されました。この成果は世界を駆け巡り、1985 年 12 月には NASA 長官からプレート運動の実証に対し、日米の VLBI グループに団体賞 (Group Achievement Award) が送られました。また 1986 年 4 月には K-3 VLBI システムの開発の功績により佐分利義和氏 (VLBI システム研究開発推進本部長)、川尻轟大氏 (VLBI システム研究開発推進副本部長) と河野宣之氏 (同本部総括主任) の 3 名に電子通信学会業績賞が贈られました。